



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 080-6923-5257 URL <http://www.asakuragawa.net>Fax 0532-53-7210 E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)

## 令和6年度朝倉川育水フォーラム

## 定時総会開催

令和6年6月8日（土）令和6年度の定時総会を開催。

令和5年度事業報告、決算報告、役員選任、令和6年度事業計画予算案について討議可決されました。

4年ぶりのカリオンビルでの総会では多くの方に出席していただきました。更なる活動の充実とみらいを支える世代への啓蒙活動にも一層の重点を置いた活動の継続が提案されました。



その後、朝倉川 530 大会の併催事業として実施しております「朝倉川へのメッセージ」の入賞作品の発表と表彰式が行われました。今年度は23名の方が入賞、31名の方が佳作に選ばれました。尚、作品はHPでご覧になれます。

これからも生き物の命あふれ、ホタル舞う朝倉川を守るためにご協力、ご支援よろしくお願いたします。

## ご寄付をありがとうございました

株式会社紅久様より50万円のご寄付を頂きました。

頂いたご寄付は、環境保全活動をはじめとする我々の運営において、大切に使用させていただきます。



総会前週の6月1日（土）には恒例の **田植え** と **ホタル観察会** を行いました。



初めて田植えを体験する子も。美味しいお米が出来るといいね。

沢山の方々に参加していただき、とても楽しい時間となりました。



昨年の豪雨の影響が心配されましたが、美しく光り舞う姿が見られました。



## 令和6年度 定時総会報告

### 活動方針

平成7年の創立以来29年目を迎え、河川を中心とした自然環境の保全に向けて活動している私たちにとって、事業の継続性ということは大きなテーマとなってきます。

組織そのものの「持続可能性」にむけて、組織の増強や運営面の見直しなどを具体的に行っていかなければならない時期に来ています。そのためにも、現在行っている事業を更に進化させそれを支える人たちが多く集えるような様々な試みをしていきます。

#### 【活動計画】

- ピオトープ事業や河川調査などを中心に、多くの子どもたちが自然に触れ合う場面づくりの充実
- 井原第二公園のゲンジボタル再生のため、地域と協働していく仕組み
- 法人会員を中心とした会員増強と会員サービスの強化
- 「朝倉川通信」、ホームページ（スマホ対応など）、SNS等様々なツールを活用した、地域への活動に対する理解の促進
- 副理事長・委員長主導による事務局を含めた各種作業の効率化にむけての見直し
- 30周年記念誌発行及び朝倉川流域ビジョン作成の実行委員会設置



株式会社紅久 代表取締役三浦裕司

昭和40年代の昔、私が小学生の頃の思い出です。

現在、朝倉川 530 大会の開会式が開催される競輪場下の朝倉川親水ステージの辺りは、その頃は自然に満ちあふれた風景でした。

川岸には笹や柳の木が生い茂り、道路からは川筋がほとんど見えません。水辺に降りるためには、細い踏み跡を辿って行かなければなりませんでした。その頃の朝倉川は今より水量が多く、曲がりくねった川筋の随所に瀬や淵が展開していました。そこは、ニホンイシガメや在来淡水魚類たちの宝庫でした。

また、川岸の所々には雑木林があり、子供たちの昆虫採集の恰好の穴場となっていました。50メートルほど上流には大きなクヌギの木が数本生えていて、毎年ヒラタクワガタの大物が捕れる一級ポイントでした。古い木には昆虫が隠れる狭いウロ穴が出来ていました。運が良ければ、そのウロの中に全長70ミリもある、牙の巨大なヒラタクワガタを見つけることができました。

今でも夏が訪れるたびに、興奮しながら木の枝をクヌギのウロに差し込み、巨大なヒラタクワガタをほじくり出したあの日のことが幻想のように思い出されます。





# 朝倉川へのメッセージ



今年も例年のように530大会の併催イベントとして「朝倉川への

メッセージ」を募集しました。小中学生の環境への関心の高さが感じられる作品が多くありました。



応募総数は498点（昨年542点）その中から最優秀賞4点、優秀賞10点、入選9点、佳作31の作品が選ばれました。

## 最優秀賞



〈田村英洋〉



〈神谷翠〉

入賞作品は  
アメーバブログ  
に掲載させてい  
たきます。



〈中西輝〉



〈森園花菜〉

## 第28回530大会

昨年は順延開催であった為、ゴミの量が少なかったと推測されます。

継続してゴミ拾いをする事の大切さを改めて感じます。

朝倉川では、子ども達が網で生き物をとったり、魚釣りをしている姿が見られるようになりました。



実施日 4月20日(土)  
参加者 1474名 参加団体51  
学校3 行政5 自治会12 団体9 企業22  
ごみの量 1463kg (昨年606kg)  
大きなごみ  
自転車3、テレビ3、タイヤ7、その他4  
うめるゴミ1kg、危険ゴミ1kg

次回は **2025年4月19日(土) 予定**

来年もたくさんの皆様ご参加ください。

ネイチャーポジティブという考え方があります。

ネイチャーポジティブとは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを意味する言葉です。生物多様性や自然資本の観点から、社会・経済活動による自然への負の影響を抑え、プラスの影響を与えることを目指す概念になります。

簡単に言ってしまうと、地球が健全な状態で、その上に我々の文明が在り、その基盤をもって持続可能な生活や経済活動が成立するという事を前提に、現在のマイナスからプラスの未来へと再興させるという事になります。

設立当時から継続されている、私たちの育水という理念を基にした活動と同じですね。

今後も、より良い自然と都市との共生のために活動を継続していきます。



第75回愛知県賞



日本水環境学会中部支部賞

## 受賞しました

これまで当法人の運動や活動を一緒にして下さった皆様があってこそこの賞です。心より感謝申し上げます。今後も朝倉川育水フォーラムをよろしくお願いいたします。



## 5/26 全国一斉河川調査

本日は水質と生物モニタリング調査を実施しました。

折悪く田植え時期と重なり、朝倉川の背後地から注がれる各所田園をくぐった水が中上流域～下流域まで大量に流れ込み、一時的ですが川は濁っていました。夕方には例年同様の良好な水質に戻っていました。

一時水は濁りますが、多様な環境がある河川背後地と河川が繋がっているという事は、生物の多様性にとってとても大切です。

ミナミメダカ、ナマズ、ドジョウなど、様々な魚類にとっての繁殖地や激流化した時の避難場所にもなります。

今後も素敵な朝倉川を見守りつつ寄り添っていきたいと思います。



終了後には鯉の調査救出作業も行いました





# 第21回植樹メンテナンス大会

令和5年11月11日（土）第21回の植樹メンテナンス大会が実施されました。

120団体500人もの方にご参加いただきました。

「水辺の回廊」事業として植樹した寺門橋～蝉川橋区間はゲンジボタルの舞うポイントでもあります。自然環境の保全と住環境の調和、安心安全、治水、このような観点も大切にしています。



2024年度は

11月9日（土）予定

この日は併せて、国土交通省併催イベント『川と海のクリーン大作戦』も実施しました。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

## 環境学習

ピオトープに来てもらったり、学校に出かけたり、時に朝倉川で生き物や水質調査を一緒にしたり、年に何度も出前授業をしています。



真剣な眼差し、楽しそうな笑顔、

子ども達から学ぶ事もあります。

## 2024年朝倉川探検隊

8/4（日）は朝倉川を目一杯堪能する毎年恒例の、会員と市民とで朝倉川の水質や生き物たちを観察する朝倉川探検隊。猛暑と降水量の少なさで、生き物が見つかるか心配しましたが様々な生き物に出会えました。

※東三河生態系ネットワーク協議会の、愛知県生物モニタリング調査も兼ねました。



カワムツ、ウツセミカジカ、  
オイカワ、ニホンウナギ…等々

皆さん、ご参加、お手伝い  
ありがとうございました。



# ビオトープ便り



「きゃー！！気持ちいい！！」



「よいしょ。冒険だ！」



見て見て！！



皆で丸太橋作り

収穫の恵に感謝



公式LINEアカウントはじめました

ID @525yaltm



是非登録  
お願いします！

活動報告や  
告知をしていきます

\*\*\*お問い合わせはこちらへ\*\*\*

朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 080-6923-5257

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.n>

事務局より

会費納入のお願い

会費のお振込みがまだの方、ご入金をお願い致します。お近くの理事にお渡し頂くか直接事務局までお届けください。

